

# 建設労働

〒556-0015  
 大阪市浪速区敷津西  
 2-7-17  
 大阪建設労働組合  
 発行責任  
 執行委員長 谷内 邦久  
 編集 集教 宣部  
 一部20円 干別

大建労本部  
 TEL 06-6632-2875  
 FAX 06-6643-5307  
 求職 06-6647-2587  
 daikenro@hera.onet.ne.jp  
 大建国保本部  
 TEL 06-6631-7112

**税金・労災など未加入者へPRを**  
 4月5日で春の拡大月間(仲間を増やす)月間は終了しましたが、引き続き身近な新人職者や税金申告・労災保険加入などで悩んでいる組合未加入者の方を、ぜひ支部まで紹介してください。ぜひ協力をお願いします。

## アスベスト関連法が改正に

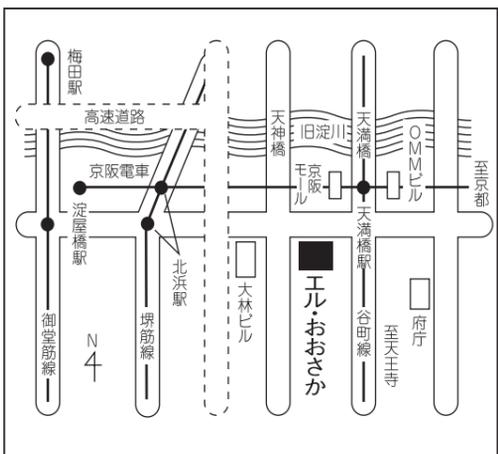
建設物の解体・改修に伴うアスベスト(石綿)飛散防止対策の強化として、石綿障害予防規則(石綿則)が、二〇二〇年七月に改正され、二〇二〇年十月から順次施行されています。また、同じ時期に大気汚染防止法(大防法)も同様の内容で改正され、順次施行されています。

## 調査届け出が義務化 仕事確保に資格取得必須

事前調査はこれまでもすべての建材で義務化されたが、きちんと実施されてこなかったことで、調査徹底と方法が具体的にされたのが今回の改正です。

二〇二二年四月からは、調査結果記録を三年間保存(事前調査結果の概要は石綿則様式一号は四十年間保存)することが開始されています。

二〇二二年四月からは、システムも稼働され、調査結果の揭示、事前調査の結果を一定規



## 3年ぶり開催

### 要求持ち寄り結集を 6月10日(金) エル大阪で

三年ぶりの大規模な建設労働者総決起集会を六月十日(金)午後七時から天満

橋エルおおさか・エルシニアターで開催します。

日時 六月十日(金)午後七時

場所 エル・おおさか・エルシニアター

参加 組合員とその家族

メイン要求

前号四月十六日号に掲載した大建労公式LINEのQRコードが正しくは上記のQRコードです。また登録されていない方はこちらをスマートフォンで読み取っていただき、お友だち登録をお願いします。



## 海外の戦争に胸痛む 憲法9条が力発揮するとき

【住吉・中野照司・配管】私は毎日テレビや新聞を見るにつけ、日本は本心で平和を感ずる。ウクライナの人々、アフガニスタン、ビルマのロヒンギャ難民は国連がいかにも無力であり、一般

「住吉・中野照司・配管」私は毎日テレビや新聞を見るにつけ、日本は本心で平和を感ずる。ウクライナの人々、アフガニスタン、ビルマのロヒンギャ難民は国連がいかにも無力であり、一般でも間違った道を正す

市民や子どもたちが日々恐ろしい体験をしているか察する。

指導者や権力者のあやまった道をたなすことがいかに難しいか思い知らされる。

以下は、国民の一人ひとりの義務と想う。言論の自由や人権が守られており、戦争放棄を憲法で示している日本を改めてほしい。核被爆国の日本だからこそ世界に示せる平和を、全国民が声を天にして訴え続けて行かなければならない。今こそ、世界に平和を訴え続けよう。

## 罰金や罰則も定められて 来年10月から厳格に

しかし二〇二三年十月 建材調査者(特定・一般)として、石綿障害予防規則からは、建築物石綿含有 戸建て等の三種類)の有 違反した場合、六月

資格者による調査と届出が義務付けられます。調査を素早く行なうことが、仕事確保に繋がる貴重なポイントであり、事業所や組合で有資格者確保が重要となるため、資格習得がカギとなります。

また、これらの罰則と

以下の懲役または五十万円以下の罰金、大防法違反の場合は、三月以下の懲役または三十万円以下の罰金、二事前調査の未報告・虚偽報告の場合、三十万円以下の罰金となります。

また、これらの罰則と

## VOICE

私は大工だった夫と息子をアスベストで亡くしました。夫の被害については東京一環訴訟で訴え、息子の被害については、現在さいたま

「私は大工だった夫と息子をアスベストで亡くしました。夫の被害については東京一環訴訟で訴え、息子の被害については、現在さいたま地方裁判所に訴えています。長い長い裁判の結果、夫については、ようやく最高裁で国の責任が認められ、私はその後、当時の菅総理から、直接謝罪を受けました。しかし、被害企業との交渉では何度も門前払い、アスベスト被害の救済をお願いするた

め、被告企業であるニチアスに交渉に行きました。しかし、社員に対し早く社内に入るように呼び掛けた上で、入り口の前にガードマンをたたせ、目の前で入り口に鍵をかけた。この期に及んでも話し合いにすら応じてもらえないのです。議員の皆様、建設アスベスト給付金の早期成立にご尽力いただき、本当にありがとうございます。ただ、現在の給付金制度には建材企業が含まれていません。アスベストの被害は深刻です。より多くの被害者が救われるためにも、建材企業が参加する補償基金制度の創設に向けて、すべての建設アスベスト被害者を救済する道をつくってほしいと願っています。ある会議で発表されたアスベスト被害者遺族の方の手記を転載させていただきます。言葉のひとつひとつの重さに胸が詰まりま

